

学習会

史料編纂所職員組合主催(東京大学教職員組合共催)

思想と信条の自由を守る 2.11 集会

2016年2月1日(月) 12時～13時

史料編纂所大会議室 (福武ホール地下1階)

* 報告者

小森田秋夫氏

* 演題「大学政策と人文・社会科学—問われていることは何か?」

2015年6月に文科大臣から発せられた「国立大学法人等の組織及び業務全般の見直しについて」と題する通知は、その意図するところを巡って大きな波紋を呼んでいます。

とりわけ名指しで組織の廃止や転換を求められた人文・社会系学部・大学院にとっては死活問題と言えるでしょう。大学とりわけ文系領域をめぐって、何が誰によって論じられているのか、その背景と突きつけられた課題について、ご報告いただきます。

東職ランチョンセミナー

第20回 2月8日(月) 12:10~13:00 東文研第一会議室
高見澤 磨氏 「中国の労働組合」

第21回 4月8日(金) 12:10~13:00 会場:地震研究所内を予定
保立 道久氏 「歴史学からみた地震・噴火—東大で文理融合を実現することは国民のためにどうしても必要」(仮)

* 報告者略歴

1970年、東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了。立教大学助手、北海道大学法学部助教授・教授、東京大学社会科学研究所助教授・教授、同所長を経て、2010年、東京大学を定年退職。2010年4月から神奈川大学法学部教授。2014年10月から日本学術会議第一部長。著作など『体制転換と法—ポーランドの道の検証』有信堂、2008年、『現代ロシア法』(編、東京大学出版会、2003年)

お問い合わせ:東京大学教職員組合書記局 03-5841-7971

